

(平成 30 年 1 月～12 月)

■高度救命救急センター

主要10疾患

疾患名	患者数
1) 外傷性頭蓋内損傷	148
2) 脳梗塞	100
3) 非外傷性脳内出血	88
4) 非外傷性くも膜下出血	54
5) 急性心筋梗塞	49
6) 急性薬物中毒	44
7) 腰椎および骨盤の骨折	32
7) 心不全	32
9) 大動脈瘤および解離	31
10) 敗血症	25

主要10手術法

疾患名 (術式名)	患者数
1) 頭蓋内血腫除去術	47
2) 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	46
3) 脳動脈瘤頸部クリッピング	42
4) 骨折観血的手術	32
5) デブリードマン	29
5) 分層植皮術	29
7) 穿頭脳室ドレナージ	21
8) 創傷処理	18
8) 小腸切除術	18
10) 急性汎発性腹膜炎	14

番号	疾病名	基準 (基準を満たすもののみ数えること)	患者数 (人)
1	病院外心停止	病院前心拍再開例、外来での死亡確認例を含む	30
2	重症急性冠症候群	切迫心筋梗塞、急性心筋梗塞又は緊急冠動脈カテーテル施行例	64

3	重症大動脈疾患	急性大動脈解離又は大動脈瘤破裂	34
4	重症脳血管障害	来院時 JCS 100 以上または開頭術もしくは血管内手術施行例、あるいは tPA 療法施行例	189
5	重症外傷	Max AIS が 3 以上または緊急手術施行例	195
6	重症熱傷	Artz の基準による	11
7	重症急性中毒	来院時 JCS 100 以上又は血液浄化法施行例	10
8	重症消化管出血	緊急内視鏡施行例	48
9	重症敗血症	感染性 SIRS で臓器不全、組織低灌流又は低血圧を呈する例	55
10	重症体温異常	熱中症又は偶発性低体温症で臓器不全を呈する例	18
11	特殊感染症	ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風等	5
12	重症呼吸不全	人工呼吸器管理症例（1～11 を除く）	56
13	重症急性心不全	人工呼吸器管理症例もしくは Swan-Ganz カテーテル、PCPS または IABP 使用症例（1～11 を除く）	37
14	重症出血性ショック	24 時間以内に 10 単位以上の輸血必要例（1～11 を除く）	13
15	重症意識障害	JCS 100 以上が 24 時間以上持続（1～11 を除く）	34
16	重篤な肝不全	血漿交換または血液浄化療法施行例（1～11 を除く）	0
17	重篤な急性腎不全	血液浄化療法施行例（1～11 を除く）	9
18	その他の重症病態	重症膵炎、内分泌クリーゼ、溶血性尿毒症性症候群などで持続動注療法、血漿交換または手術療法を実施した症例（1～17 を除く）	245
	計		1053